



みんなの回生

題字揮毫
元県知事・前川忠夫



- 新年のご挨拶 理事長・病院長・副院長 兼 看護部長 …… 2・3
- 医療の話 一 膝の治療その② 再生医療 …… 4・5
- 令和4年度 香川県総合防災訓練に参加 …… 6
- ハローワーク主催 ソフトボール大会出場 …… 7
- 皆様からのご意見の紹介 …… 8

回生病院理念

皆さまに愛され信頼される病院を目指します

回生病院基本方針

- 一、私たちは質の高い医療を提供します
- 一、私たちは保健・医療・福祉と連携を図ります
- 一、私たちは予防医療の充実に努めます

患者さまの権利と責務

- 一、患者さまには、最善で公平な医療を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療内容について十分な説明と情報を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療行為について選択・同意・拒否する権利があります
- 一、患者さまには、個人情報を保護される権利があります
- 一、患者さまには、自らの健康に関する情報を提供する責務があります
- 一、患者さまには、病院の規則を守る責務があります

2023年
301号



社会医療法人財団 大樹会 総合病院 回生病院
坂出市室町三丁目5番28号
回生病院ホームページ <http://www.kaisei.or.jp/>

☎ 0877 (46) 1011 (代)
夜間の受付も行っています。

新年のご挨拶

理事長 松浦 一平



新年明けましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

数年前から続いている新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種や治療薬の承認、季節性インフルエンザと同等への引き下げ検討により、社会生活や日常の活動範囲の制限が少しずつ改善され、終息への兆しが見えてきたように感じています。この数年間で社会は多くのものを失ってきました。たくさんの方の不幸も間違いなくあった一方で、多くの新しい価値、ライフスタイル、そして新たな幸せを得ることもできたのではないのでしょうか。コロナ禍以降、働き方の変化として「懇親会の減少」や「出張の減少」、「Web会議（ミーティング）の導入」、「テレワークの導入」など、移動や接触の低減に繋がる対策が実施されています。アフターコロナに向けては、「テレワークの減少」や「出張の増加」、「懇親会の増加」など、働き方をコロナ前に近づけていく意向も確認されています。コロナ禍の完全な終息にはもうしばらく時間がかかるとは思いますが、これまで通り個々の基本的感染対策の継続は、新型コロナウイルス感染症終息の近道になるであろうと考えています。当院は感染症指定医療機関ではありませんが、入院患者さんや当院を利用される方が安心して受診していただけるよう万全の予防対策を行っております。関係者の皆様にはもうしばらくの間ご不便をおかけしますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

回生病院は引き続き質の高い医療を地域住民の方々に提供すると同時に、患者さんをはじめ地域の住民の皆さんが、住み慣れた地域で安全・安心して暮らせる地域作りに全力を注いでまいります。

本年も何卒よろしくお祈り致します。

新年のご挨拶

病院長 杵川 文彦



新年明けましておめでとうございます。昨年中、当院に賜りました数々のご支援に対しまして、職員一同心より御礼申し上げます。

COVID-19の流行が収まりません。この原稿執筆の時点では第8波がやってきており、感染者は高止まりの状態です。今までのように気軽に学会や研究会に参加することができなくなっています。Webを活用して新しい情報の収集に努めており、「私たちは質の高い医療を提供します」の基本方針に従った診療を継続できるよう努力していきたくと思っています。

COVID-19に対しては当院でも専用病床を設置し可能な限り対応しておりましたが、昨年11月からは重点医療機関としてさらに対応を強化しています。また、発熱外来、COVID-19患者のトリアージ、ワクチン接種等も引き続き行います。今年も臨機応変に対応していきたいと考えています。このような中でも通常の診療についてはできる限り縮小せず継続するように取り組んでまいります。診療業務に影響を及ぼさないための厳重な感染対策を行っておりますが、ご協力の程よろしくお祈りいたします。

さて、今年が卯年です。前年の寅年には物騒なことがよく起こっているようですが、実際にロシアのウクライナ侵攻が起こってしまいました。卯年に起こったできごとを調べてみると、国民徴用令公布、第二次世界大戦勃発というものがあり、今年も悪い年か、と思います。したが、よく調べてみると穏やかで文化的な事柄が多いようです。以下に列挙してみます。エジソンが白熱電球を発明、カーネギーホール開場、日比谷公園開園、大阪市電開業、日本初の映画常設館開業、第1回早慶戦、ライト兄弟が人類初の動力飛行に成功、第1回全国

中等学校優勝野球大会（現在の夏の高校野球の前身）開幕、岩波文庫創刊、鉄腕アトムの放送開始、サザエさんの放送開始、黒部川第四発電所完成等です。COVID-19の特効薬でも開発されればよいのですが・・・

不安な要素の多い昨今ですが、「皆さまに愛され信頼される病院を目指します」の理念のもと、充実した地域医療を提供するため、職員一同全精力を注いでいく所存です。本年も、皆様方の温かい御支援、御指導をよろしくお願い申し上げます。皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

副院長兼 看護部長

南原 愛子



新年明けましておめでとうございます。今年が皆様にとって幸多き年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

四年に一度のサッカーワールドカップは、ドーハの歓喜といわれたドイツとの試合、その後スペインにも勝利し、日本は一次リーグを一位通過となりました。決勝ステージでの活躍を期待しながら、この原稿を書かせていただいています。

コロナの第七波が収まりかけた昨年十月、看護部職員を対象に、「コロナ禍を振りかえって」のレポート課題を出しました。忙しいこの時期に何故、との声もありました。しかし、いろいろな思いを知り、

課題を考える機会となりました。旅行や食事会ができない自粛生活の中、職場でも黙食の励行で、スタッフ間の会話が十分にできない苦悩。感染予防を心がけていても、自分が感染するかもしれない・患者さんや自身の家族にうつすかもしれないという不安や恐怖と戦いながら、使命感で業務に当たっている事実。患者さんが一番辛いからと、苦痛を軽減するためにケアし、不安がなくなるようにと声をかけて職員。また面会制限の中、ご家族に現在の状況や少しの変化を伝えて安心させてあげようとしている職員。自分がコロナに感染してしまつて、その経験をケアに活かそうとする職員。尊敬と感謝しかありませんでした。このように一度立ち止まり、「看護職は何をする人か、何をすべきか」と自分自身に問う機会は必要なことだつたと思つていきます。

発熱外来やコロナワクチン接種などの業務は今も継続しています。患者さんやご家族からの労いの言葉や、職員同士の思いやりのある言葉で救われたとも聞きます。地域の「皆さまに愛され信頼される病院を目指します」という病院理念を忘れず、今年も取り組んでいきたいと思えます。本年もご指導何卒よろしくお願い致します。



医療の話 ― 膝の治療その② 再生医療

整形外科 統括部長 衣笠 清人

秋号でも書きましたとおり、私は「手術治療を極める」を命題に外傷治療を軸としながら整形外科全般にわたり修練し、20年ぐらい前からは徐々に仕事の中心を人工関節手術や骨切り術にシフトしてきました。進行した変形性膝関節症に対しても根本的に治す方法は手術療法しかないのが現状であり、ヒアルロン酸の注射をはじめとする保存治療は対症療法に過ぎず、効果も極めて限定的です。したがって私は手術で良くなることが期待できる患者さまには手術治療をお勧めしてきました。しかし、患者さまの気持ちとしてはできるなら手術はしたくないというのが本音であり、その心情も理解できます。

その間を埋めるべく近年登場してきたのが再生医療です。当院では最近 ASC、APS と PFC-FD という3種類の再生医療を変形性膝関節症に対する治療として始めました。脂肪幹細胞を用いた ASC、進化型の PRP 療法ともいべき APS、そしてサイトカイン療法のひとつである PFC-FD であります。すべての方法が外来治療として簡便に行うことができます。ただし、すべて自由診療で保険医療ではありませんので医療費の自己負担額は大きくなるのが玉にきずです。

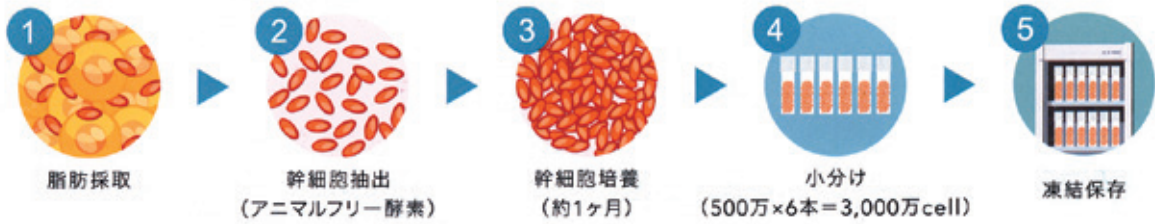
まず最も有望な ASC 療法について少し詳しく述べますと、ASC とは脂肪由来幹細胞の略称です。幹細胞はさまざまな細胞に分化することができる細胞で、また自家分裂して増殖する機能もあります。さらにこれらを促進する成長因子（サイトカイン）を分泌して損傷組織の修復を助けます。具体的には ASC 療法は腹部を3ミリのほど切開して1cc程度の脂肪を特殊器具で吸引採取し、そこに含まれる幹細胞を5千万～1億個まで培養増殖させてから膝に注入する治療法です。

また他の二つの治療法については、血小板には痛んだ組織の修復を促進する物質（成長因子）を供給し自己治癒力を高める働きがあるので、これを患部に注入する治療が PRP 療法であり、そしてその成長因子をさらに増量した治療法が APS 療法です。PFC-FD 療法はここから血小板を除去して成長因子だけを用いる方法です。これらは採血した患者さまの血液が原料となります。

すべてがまだ新しい治療法なので治療成績に関する十分な報告はありませんが、私はここで書いた順で効果は期待できるのではないかと考えています。当然ながら変形の程度が軽いほど効果は期待できますが、ある程度進行した方でも選択肢の一つとして考慮してよい治療法だと思いますので、膝の痛みでお困りの方はぜひ一度、整形外科外来までご相談ください。



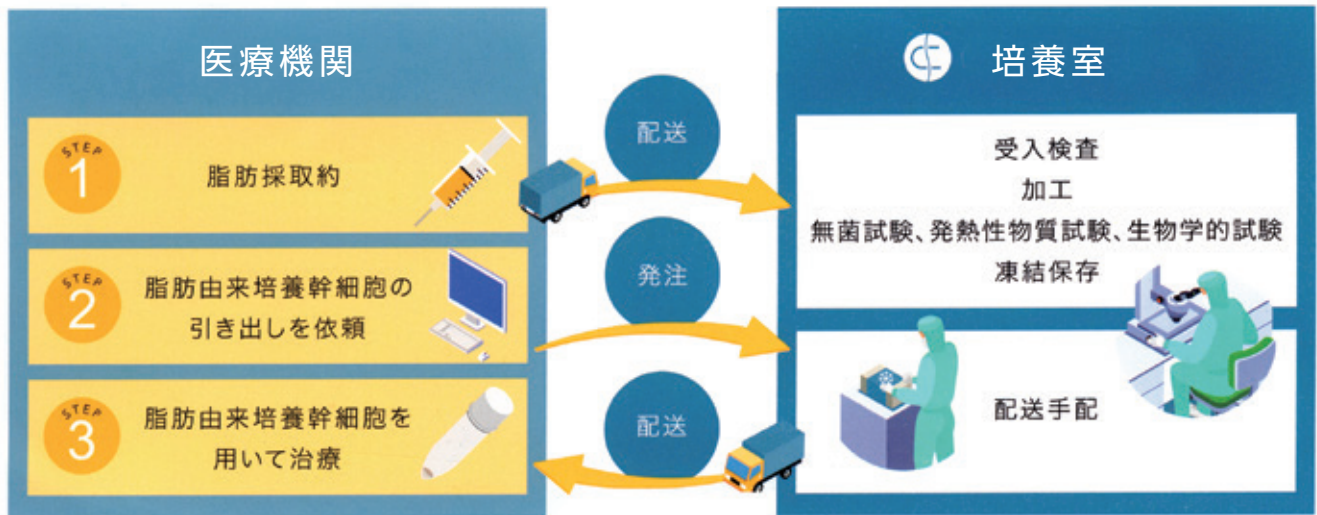
ASC治療とは



脂肪由来幹細胞(ASC)とは？

ASCは脂肪組織だけでなく、骨や軟骨・心筋細胞・血管新生に関わる細胞などに分化する能力を保持していると考えられており、様々な形で再生医療への応用が期待されています。

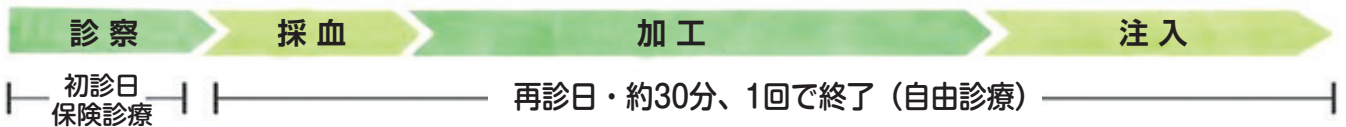
ASCを用いた再生医療は、変形性関節症治療における保存的治療と手術治療の間に位置する新たな選択肢として期待されています。また、乳房や皮下組織の再建などでもASCを用いた再生医療が活用されています。



APS^{*} 治療とは

患者さん自身の血液を遠心分離してつくられるPRP(多血小板血漿)を関節内に注射することで炎症をしずめ、痛みを軽減するものです。

^{*} Autologous Protein Solution 自己たんぱく質溶液



① X線撮影などで診断・診察する



② 約 55ml を採血する



③ 血液を遠心分離し、治療に有効とされる高濃度のPRP(=APS)を抽出する



④ 膝関節にAPSを注射で注入する

令和4年度 香川県総合防災訓練に参加

DMAT 委員会

令和4年度香川県総合防災訓練が10月23日に香川県高松市生島町で開催され、香川県医務国保課からの要請で医療救助訓練パートに当院からDMAT（災害派遣医療チーム：Disaster Medical Assistance Team）が参加いたしました。

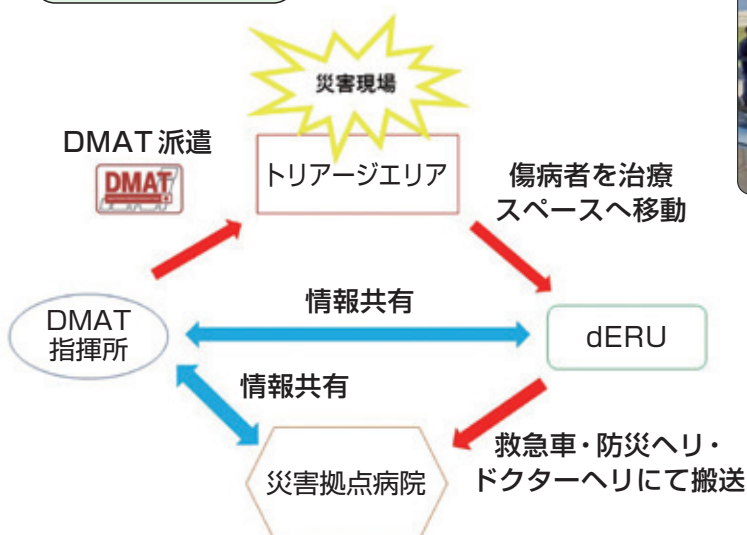
近年マスメディアで取り上げられることも多いDMATですが、当院には現在6チーム存在し、24時間365日当院の災害対応や近隣および全国の被災地に向けて派遣できる体制を整えています。当院DMATは過去に国内で発生した東日本大震災・熊本地震や西日本豪雨災害などの大規模災害にも出動した経験があります。

医療救助訓練には当院DMAT1チームに加え、香川県立中央病院DMAT1チーム・日本赤十字社香川支部のDMATおよび救護班が参加いたしました。当院DMATは、災害現場支援指揮所の指揮統括として3病院の人員および医療資源を管理、現場外との連絡・情報共有、傷病者の搬送調整（搬送順序・搬送先・搬送手段の調整など）を行いました。

訓練開始とともに香川看護専門学校の学生が扮する傷病者が救助ボランティアによって災害現場からトリアージエリアに搬送され、そこで主に香川県立中央病院DMATが傷病者を受入れ、治療の優先順位を決定するため医師・看護師によりトリアージが行われました。黄・緑にトリアージされた傷病者は、日本赤十字社から参加したdERU（国内型緊急対応ユニット：domestic Emergency Response Unit）という医療システムに搬送され、そのユニット内で重症患者に対し赤十字医療スタッフにより病院搬送までの安定化処置・状態管理が行われました。ユニット内の収容患者は30名程度のため、当院DMATが指揮所にて医療機関への連絡調整を行い、救急車・防災ヘリ・ドクターヘリ等の搬送手段を駆使し災害拠点病院への搬送を行いました。

当日、災害救助訓練の部分は1時間半程度ではありましたが、事前に様々な部門の方々と訓練打ち合わせを行うことで、横のつながりを強くすることができました。この訓練は県や消防・自衛隊他多数の関係各所が一堂に介して行われる訓練であり、新香川県知事を含めた参加者が非常に熱心で、有意義な訓練となりました。いつ何時に発生してもおかしくはないと言われる南海トラフ地震などの災害に十分備え、日々の訓練を生かすことができるように今後も精進していきたいと考えております。

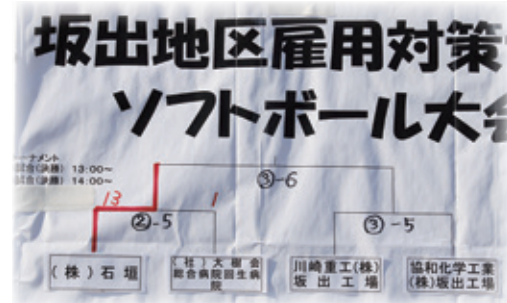
傷病者フロー図



ハローワーク主催 ソフトボール大会出場

2022年11月3日（祝）坂出市総社グラウンドにて行われた、ハローワーク主催ソフトボール大会に参加しました。

結果は、3位となりました。



皆様からのご意見の紹介

ご意見①

病院が広いので杖だけではとてもしんどいです。他の病院では1人用の小さなカートを用意してあります。どうか回生病院でもぜひお願いします。

【回答】

ご提案ありがとうございました。
2022年4月以降、ご意見箱の他、患者相談窓口でも複数の方からご要望の声を頂いておりました。
2022年10月12日より、写真の様なカートを正面玄関に3台設置することとなりましたので、是非、ご利用下さい。
入退院の荷物を運ぶ場合は大きめのカートも設置しておりますので引き続きご利用下さい。



おほめの言葉①

付き添いで来ましたが、受付・検査等すべての人々がすばらしいと思いました。他の人に対応しているのを見ていても本当に嬉しくなります。すてきな病院だと思います。全員の対応が良いなんてすごいことだと思います。ありがとうございます。

おほめの言葉②

このたび家内が圧迫骨折で入院し、おかげ様で治って退院しました。しかし、日常生活に不安がありましたので、相談員に相談をしました。この時、介護保険の手続きにつき詳しく説明を受け、その手続きをしたところ、坂出市から「介護保険被保険者証」の送付を受け感謝しています。その後、検査のため家内を車椅子に乗せ、相談員の横を通りますが、お忙しい中、車椅子のそばに来て家内に一言かけてくれることがあり、その笑顔とやさしい声がけには、いつも家内と喜んでいきます。教えていただくことが多いと思いますが、よろしく申し上げます。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

当院をご利用の皆様からの提案、ご指摘により気づくこと、改善の検討につながる 경우가多くあります。本年も引き続き、ご意見やご提案をぜひお寄せください。

医療安全対策室